



第3回VERAユーザーズミーティング報告

寺家孝明(VERA観測所)

2005年11月1～2日の二日間、VERAユーザーズミーティングが三鷹キャンパスの解析研究棟大講義室で開催されました。ここでは、このユーザーズミーティングについて報告させていただきます。本会議は、VERAの観測・研究活動報告と共同利用のあり方について、ユーザーと運用者側が議論する場であり、今回で3回目となります。今年は70名の参加者があり、28件の講演と18件のポスター掲示がありました。以下に、簡単ではありますが、発表と議論の内容を紹介致します。

会議が行われた二日間の内、一日目はVERA観測所職員による運用成果報告とプロジェクト観測の成果報告を行いました。VERAの運用成果報告では、今年は大がかりなアンテナ改修工事による観測性能の向上を始めとする観測・解析システムの報告が行われました。VERAの目指す精度に向けた性能向上と観測運用の定常化・安定化が発表の趣旨となりました。プロジェクト観測の成果報告ではVERAプロジェクト・サイエンスの成果発表が行われ、定常的な観測と解析ツールの整備がVERAで進められる中、VERA本来の目的である位置天文の成果報告がありました。

二日目は試験的共同利用の成果と結果報告、

今後の共同利用のあり方、他機関やサイエンスとの連携について、発表と議論が行われました。試験的共同利用では、昨年度の結果報告が出る一方で今年度の共同利用のあり方について検討され、Q帯のオープンや、VERA以外の国内の電波望遠鏡も含めた共同利用の期間と観測アレイの形態についての議論がなされました。他機関やサイエンスとの連携では、RISE計画VERA運用への関係に関する発表と議論、大学VLBI連携や東アジアVLBIネットワークへの拡張計画、光結合VLBIの役割について発表が行われた一方で、VERAが行うサイエンスについても変光星などターゲットにする天体の理論的アプローチなど、サイエンス面での拡張について意見がありました。

初日の夜には生協食堂で懇親会が行われ、多数の方が参加されました。本会議、懇親会共に盛況な中で実行することが出来たこと、参加者の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。



▲ポスターセッションのようす。



▲成果報告会のようす。



▲懇親会でも活発な議論が交わされた。